



HAMAMATSU SEISEI HIGH SCHOOL

## 2021年度 学校案内



浜松聖星高等学校

HAMAMATSU SEISEI HIGH SCHOOL

# 浜松聖星高校なら大丈夫!

高校進学の際には、いろんなことが心配になるもの。でも、浜松聖星高校なら大丈夫！  
「進路指導はちゃんとしているかなぁ」「男子でもなじめるの？」「実は英語苦手なんだけど…」  
そんな皆さんのお悩みをズバリ解決！これが浜松聖星高校「8つの大丈夫ポイント」です。

大丈夫!  
Point 2

充実した留学プログラムを  
活用し、生徒の英語力を  
しっかり伸ばします。

進路が  
心配…

大丈夫!  
Point 6

教員が個々の  
生徒を最後まで  
指導し、  
志望校合格まで  
導きます。

大丈夫!  
Point 3

心の  
教育…

ミッションスクールの  
伝統を守り、人類普遍の  
豊かな人間性を育てます。

留学が  
心配…

部活と  
両立…

大丈夫!  
Point 5

部活動と勉強を  
両立させた  
「文武両道」の  
生徒が数多くいます。

学費が  
心配…

男子  
だけ…

大丈夫!  
Point 8

学校行事、  
部活動、  
HR、理系進学  
などで男子が  
大活躍して  
います。

大丈夫!  
Point 4

実践的な  
授業で  
「苦手」を  
「得意」に  
変えます。

大丈夫!  
Point 1

情報教育のプロが楽しく  
実践的な授業で生徒の  
能力を伸ばします。

ICT教育に  
不安…

大丈夫!  
Point 7



英語が  
苦手…

就学支援金の  
拡充で負担は  
公立並み。  
私学の充実した  
環境で安心して  
学べます。



### 校訓

真理を学び 愛に生きよ  
真理と愛こそ 人生の光

### 教育の目標

隣人愛の実践により  
世界に貢献する人間を育てる

### 教育の方針

国際教養教育と心の教育を推進

### 教育の四つの指針

- 1 社会的、職業的自立につながる  
知力・学力を養成
- 2 グローバル化社会で生きるために  
実践的な英語力を育成
- 3 社会において重要な役割を担う  
リーダーシップを養成
- 4 困難に負けない勁さと、  
他人を思いやる愛を育む

### 沿革

静岡県西部で唯一のカトリック系ミッションスクールである本校は、昭和31年(1956年)4月、聖ベルナルド女子修道会により創立され、平成10年(1998年)、スピノラ修道女会がその経営を引き継ぎました。現在、同修道女会は、日本、スペイン、イタリア、アルゼンチン、ブラジル、エクアドル、ベネズエラ、パラグアイ、フィリピン、アンゴラの10カ国、40数校で教育活動を行っております。平成29年(2017年)4月より男女共学となり校名を「浜松聖星高等学校」と改めました。

# ステラ・マリスの英知を胸に、新たな世界へ――



学校法人  
浜松海の星学院  
理事長  
**北脇 保之**



学校法人  
浜松海の星学院  
学院長  
**高橋 美智子**



学校法人  
浜松海の星学院  
浜松聖星高等学校  
校長  
**重信 明利**

## 浜松聖星高校、 新しいステージへ

浜松聖星高校はこの春共学化第1期生を送り出しました。これで4年前共学化を打ち出して以来の一つのサイクルが回ったといえます。この間私たちは新しい学校を目指して、校名変更をはじめ、男子トイレ、男子部活室や第2グラウンドの整備、全校WiFi環境の整備や学習・校務両面のIT化、英語教育・国際教養教育の拡充、理系教育の強化、募集定員の増員など様々な課題に取り組んできました。これらの取組みにより、本校は共学化前に比べ授業や学校行事、部活動などあらゆる面において著しく活気が増し、充実してきたという評価をいただいています。私たちは現在、こうした成果を基礎に、さらに良い学校に発展させていく新しいステージに立っています。

このステージにおいて聖星高校が最も重視するのは、「学びのスタイルの変革」です。明治以来我が国の初等・中等教育は、知識を覚えさせ、それを1点刻みのペーパーテストで評価することに重点を置いてきました。しかし、情報の収集・保管や一定の処理については人間がITに到底かなわなくなっている今、人間に求められているのは情報を活かす前提となる「問い合わせ」の設定力であり、情報の根拠を正す批判力です。こうした力をつけるための生徒の主体性重視の教育は、従来の方法では授業に興味を持てなかった生徒も惹きつけることができ、またその過程で得られた知識が生徒の血肉となるという効果があります。このような教育はこれから大学入試の方向性に合致したものなので、進学・進路選択にも必ず役立ちます。

みなさま、どうか浜松聖星高校が提供する新しい教育にご期待ください。

## マリア像

浜松聖星高校の校門から入ると、1番初めにマリア像が手を広げて迎えてくれます。校内にいる一人ひとりはマリア様の祝福を受けて1日を過ごします。門を通過する方も一瞬のうちに通り過ぎていく車にもこの祝福は届きます。生徒は5月に行うマリア祭が好きです。祈りのうちに進む静かで美しい時をマリア様を祝う行事です。自分が母の前に素直になれる時を実感しているからでしょう。

本校は、多感な青年期を過ごす若者に「真理を学び  
愛に生きよ 真理と愛こそ人生の光」と呼びかけます。

学問はもとより学問の奥にある真理に気づき、人としての尊厳を学び、愛に生きるとき、人は人生の光の中を歩んでいると、校訓は教えます。

私たちの会の創立者マルセロ・スピノラは、「確固としたキリスト教教育は、人間としての眞の進歩を遂げさせる」という信念をもって、若者の「心を形成し、知識のあらゆる分野をもって知力を豊かに開花させることは、未来の構築に役立つ」と考えていました。ゆえに、「より人間的な社会、よりいっそうの正義が実現する社会の建設と、若者を内的外的束縛から解放する心の教育を行います。また、対象者が種々の知識を修めることにより、知性を高め、すべての資質と可能性を伸ばせるようにします。キリストの愛を知る主な道は、キリストの母マリアであることを示します」を学校の目的としました。

私たちは校門で迎えてくれるマリア像の奥に、真理と愛に生きた女性聖母マリアを見ているのです。

## 真理の探究

昨年度から今年度にかけて、世界中の人々が新型コロナウィルスに振り回され、国内でも大切な身内を亡された方、生命の危機にさらされた方が多く出了ました。9年前、東日本大震災で大勢の犠牲者が出了時、私たちは自然の脅威の前に人間の無力さを痛感したのですが、今回は肉眼で見ることらできないほど小さなウィルスという存在を前に、またしても自らの無力を痛感するに至りました。

私たち人間は地球という閉ざされた環境の中、全生命体の頂点に君臨し、あたかもすべての生物を支配しているかのような振る舞いをしてきましたが、実際には水辺に生える1本の葦のように弱々しい存在であることを、このような現象が起きるたびに感じます。

しかし、フランスの哲学者ブレーズ・パスカルは葦でも「人間は考える葦である」と言っています。自然災害に遭えば人間は台風の進路を予測したり地震を予知するシステムを開発し、高潮や津波に備えての防潮堤を建設します。ウィルス感染症が流行すれば、そのウィルスと戦うためのワクチンを開発し、免疫学などの医療分野を発展させます。私たち人間は「科学」という武器で、繰り返し襲ってくる災害や疫病と戦ってきたのです。

これから私たち教育に携わる者が育てていかなければならぬ能力は、この「科学力」です。ただし、この科学力を支える能力として「情報収集力」、さらに科学力を生かす能力として「情報発信力」も同時に育てていかなければなりません。

これまで留学制度や語学教育により「国際教養力」を育てることに主眼を置いてきた浜松聖星高校ですが、これからは「情報教育」、「科学教育」にも力を傾け、国際社会において眞の意味で貢献できる人材の育成に取り組んでいきたいと考えています。



# ICT(情報通信技術)教育

Information and Communication Technology

教員(ICT教育担当)

園川香おり先生



## ICTで創造する「なりたい自分」と「理想の未来」 “楽しい!”を基本に、生徒の自発性を引き出す

「ICTって、むずかしくて一般の生徒にはわからないんじゃないの?」「なんだかオタクっぽい、暗いイメージ。楽しくなさそう」このように感じる方が多いかもしれません。でも、浜松聖星高校のICT教育は違います。生徒がなりたい「未来の自分」を創るために、コンピューターが嫌いな子は「大好き!」にし、好きな子は難関の国家資格合格などへ導きます。

さあ、あなたも聖星高校で、ICTが拓く無限の可能性を体感しましょう!

本校のICT教育がほかと違う点は、  
ズバリ何でしょうか。

楽しい!という点に尽きると思います。私も高校時代まではコンピューターに全く興味がなかったんですが、仕事で関わっていくうちに、常に進化し続けるコンピューターの世界が楽しくてたまらなくなりました。だから生徒たちには「私はコンピューターがとても楽しいよ。うらやましいでしょ?みんなも早くこっちにおいでよ!」というメッセージを送っています。面白がっている私を見て生徒たちが「よし、自分の未来のためにやってみよう」と、自発的に考え、行動することを大切にしています。「知りたい」「わかりたい」そんな興味に本校のICT教育が応えます。

先生の授業の特色は。

徹底したアクティブラーニングです。学び合いが多く、私の“ペット”的恐竜ロボットを持ち込んだり(笑)、古いパソコンを分解して中にどんなすごい技術が詰まっているかを体感します。それと、毎回行う「5分間アルゴリズム」というクイズ。これは正解を出すのが目的ではなく、答えに至るまでの道筋をみんなで徹底的に考えることを重視しています。後は、毎回10分間のキーボード練習。スマホに慣れた生徒たちには、やはり必要な訓練です。これにより、自分の上達を目で見て確認することは、成功体験の一つとして非常に重要と考えています。

授業以外でも、  
先生は情報処理部の顧問もされていますね。

着任時の部員はわずか5名でしたが、共学化された今は100人を超す大所帯になりました。そんな中で、生徒たちのコンピューターへの興味の持ち方は千差万別。「コンピューターは好きじゃないけど、将来のために学びたい」という生徒には、その生徒に合ったスキルアップの方法を教えます。また「バリバリにコンピューターをやりたい」という生徒に対しては、「こんな国家資格があるよ。挑戦してみる?」と誘い、指導します。その結果、これからICT社会に欠かせないセキュリティーマネジメントの国家資格を取った生徒もありますし、コンピューターグラフィックスへの興味から色彩検定1級というかなり特殊な資格を取った生徒もいます。

ICT教育で最も大切なことは。

ICTといえば、まずプログラミング教育が思い浮かびますが、決してそれがすべてではありません。AIにせよ、未来の社会はICTを抜きにしては考えられず、それを開発することも大事ですし、ICTを利用して何か全く新しいビジネスや生き方を創造することも大切です。「ICTを活用して、なりたい自分になろう、こうなればいいなという未来を創造しよう」という生徒を、一人でも多く育てることが私たちの使命だと思っています。



### 環境の構築

「One-to-One」でのPC活用(生徒一人一台端末)。  
スピードと使いやすさを追求した「Chromebook」を  
生徒全員が所有。校内無線LAN完備。

### 自学自習の推進

国数英3教科(中学～高校の基礎から応用まで)の受講が可能で、個々の学力に応じて問題のレベルが自動で変化する「難易度コントロール」や、解けなかった問題の要因を探る「つまずき診断」によって、効率的に弱点を発見し、何度も繰り返し復習することができます。



### 電子黒板の活用

全クラスに配置し、映像やインターネットを取り入れた授業が可能になりました。



臨時の休校中でも  
オンライン授業を実施。  
学習サポート体制が万全なのも  
聖星高校の強みです!



# 国際教養教育

International liberal arts education



留学、海外・国内英語研修、G-TEC等英語資格・検定試験への取り組みなどによって、世界に通用する人材を育成します。

## エンパワーメント・プログラム

高校時代は様々な体験や人との交流を通して、自分と深く向き合い将来の進路や方向性を考え始める大切な時期です。エンパワーメントプログラムは、その多感な時期に米国のトップ大学で自分の才能や情熱を原動力に学んでいる大学(院)生たちと、多岐にわたるプロジェクトや交流を通して自分の個性に目を向けさせ「生き方」を考えさせる良い機会となります。言語は英語を使いますので、英語での表現力が鍛えられることは勿論ですが、様々な個性の外国人留学生たちと一緒に語り合い、彼ら彼らの世界観に触れる事は刺激的であり、異文化に対する理解を深め人間的な成長を促してくれます。

対象:特進コース1年生および希望者  
実施時期:夏休み5日間

## CALL教室

大学等でも利用される先進的な語学学習支援コンピューターシステム「CALL」を導入しています。1人1台のパソコンを配置し、サーバーを通して音声・映像・テキスト・インターネットなどを利用できます。オンライン英会話では海外のインストラクターとリアルタイムで交流し英語会話力の向上を図ります。



大丈夫!  
Point 2

## 留学制度

Overseas Homestay Program

浜松聖星高校は留学制度がとても充実しています。ホームステイをしながら現地の高校に通い、新たな視点や考えに出会える機会です。留学中の単位は本校の単位として認められ、3年間で卒業できます。世界への第一歩をここから踏み出しましょう。

応募のチャンスは2回

### 選抜方法について

- 1 入学時に留学を希望の場合  
各コースにて「留学」を希望  
▼  
選抜方法 各コースの筆記試験科目に加えて、英語と日本語による面接と保護者面接  
合格発表時に決定

- 2 入学後に留学を希望の場合  
各コースに在籍、「留学申込書」を提出  
▼  
選抜方法 志望動機(800字以内)、英語筆記試験、英語と日本語による面接  
1年次5月に決定

留学先	カナダ	イギリス	オーストラリア
期間	1年間 2年次 4月から翌年3月まで	6ヶ月 2年次 4月から9月まで	3ヶ月 1年次 1月中旬から3月まで
人数	8名 各2名×4校	2名 各1名×2校	6名 各2名×3校
学校	サスカトゥーン市内の高校4校		
宿舎	St. Bernard's High School 他1校		
費用	約330万円	約175万円	約135万円
浜松聖星高校 校納金	留学中については、納付金のうち授業料のみ金額の2分の1を免除する		

### 先輩の声 Senior voice 英検2級合格、さらなる高みを目指す

私は中学生の頃から他言語を学ぶことに興味があり、浜松聖星高校の英語教育やグローバル活動に惹かれ、入学しました。その中でも、夏休みを利用して行われるエンパワーメントプログラムという外国人留学生との交流プログラムでは、英語力だけでなく、自分の長所や短所を知り、自ら発信する力をつけることができました。このプログラムでの「break the chain of shyness」という目標は、まさに私が英語を話す上で、一つの目標であり、壁でした。これに加え、ネイティブスピーカーの先生の授業やコミュニケーション、同じ目標を持つ仲間と高め合いながら生活することを通して、この春に英検2級合格を手にすることができます。

国際特進コース 2年 石川 海音(三ヶ日中学出身)

### 先輩の声 Senior voice エンパワーメントプログラムで成長を実感

言語力を磨き、自己成長できるのがエンパワーメントプログラムです。このプログラムは、浜松聖星高校独自のもので、夏休みに行われます。様々な国の大學生とFace to Faceで1週間英語でコミュニケーションを取らなければなりません。プログラムでは、いくつかの題材に関してグループ内で共有・発表をします。英語で自分の考えを伝えるために何度も大学生と話し合いながら準備をしました。最終的に、英語で発表することができた時は、今までにない達成感を味わうことができました。また、共に過ごした休み時間や放課後も、刺激ある時間でした。私は他者とコミュニケーションをとることに興味があり、積極的に留学生に話しかけました。ゲームをしたり、趣味について話したりしました。放課後には、食事に行くなどし、1週間丸々英語に触れる事ができました。プログラム終了後も連絡を取り合い、言語力の向上に努めています。とても素敵な1週間になりました。

国際特進コース 2年 久保 韶(マナウス日本人学校中等部出身)



### オーストラリア留学を体験して

私は中学生の頃から他の教科に比べて英語が好きでした。決して得意だったわけではなく、単に好きでした。聖星高校に入学してからは実際に英語をしっかり使った授業やプログラムがあります。私は夏の短期アメリカ研修に参加し、エンパワーメントプログラムではアメリカの大学生の受け入れ先にもなりました。1年次のオーストラリア留学では、英語をフル活用できる環境、生活しているだけで新しいことを発見できる環境にとても感動したのを覚えています。オーストラリアは、留学生が過ごしやすい国と言われていて、留学先として選ばれことが多いようです。実際に私も留学生?と気軽によく声をかけられたり、自分も留学生を受け入れたことがある、と話してくれたりする人が多くいました。それでも考え方や文化の違いが思っていた以上にあり、私が今まで聴いていた英語との違いを感じました。そんな大変な状況でも、この3ヶ月間で自分が大きく成長したと感じられることが沢山ありました。周りの人の支えがあってこそと、感謝しています。いつかまた、現地の家族や友達に会いに行けたらと思います。

先輩の声  
Senior voice

# 心の教育

Education to bring up the heart



キリスト教の  
理念に基づき、  
生徒たちの豊かな心を育む

県西部唯一のカトリック校として、キリスト教の理念に基づく「心の教育」を実践しています。生徒たちは、宗教の授業や行事を通じて、自分を見つめ、他者を認め、自らの人生観を深めていきます。今後も、私たちは「心」を大切にした教育に力を入れてまいります。

**先生の声**  
Teacher's voice

**愛は忍耐強い** 学院長 高橋美智子先生

テサロニケの信徒への手紙の一節に「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい」があります。この言葉に触ると、やはりマザー・テレサのお姿が思い浮かびます。貧しさの中に生きる人の心に寄り添い、他者のために力を注ぐことに喜び、神に祈るお姿は魅力的です。日々芽生える様々な感情に惑わされることなく、どんなときにも物事の明るい面を見るまなざしは本当に力強く、忍耐強く、愛であると学ぶ事ができます。人を愛するということは自分の都合で決められません。時に忍耐を必要とし、我慢を伴います。生徒たちは、神の愛の深さを知り、そしてそれを実践してみようと思う心を持ち続けてほしいと望んでいます。



## 宗教の時間

週1回、キリスト教の教えを通して自分の内面と向き合うことで、豊かな心の育成を目指します。

### その他

- ・物故者追悼式
- ・クリスマスツリーの下で
- ・SYD講座(フィリピンの子ども支援活動の紹介)
- ・ボランティア募金活動(年に数回)

## チャペルアワー

各学年でテーマをもち、年1回開催します。神父様のお話を通して神さまのメッセージを受けとめ、祈りの時間を過ごします。

## マリア祭

聖母月ともいわれる5月に毎年行われます。生徒一人ひとりが持ち寄った花をマリア様に捧げます。マリア様の生き方やシスターの講話から自分の生き方について考えます。



## ステラサンクタクリスマス

毎年12月に、アクティティ浜松中ホールで行われます。イエス・キリストの降誕劇と吹奏楽部によるクリスマスコンサートを上演します。劇には、演劇部、ダンス部、合唱部、聖歌隊、放送部が出演します。2回公演で行われ、昼公演は全校生徒で、クリスマスの本来の意味である愛と平和のメッセージを味わいながらイエスの誕生をお祝いします。夜公演は一般のお客様にもご来場いただいています。



## 宗教と私 —自分と向き合う時間—

浜松聖星高校には、週に一度宗教の授業があります。さらに毎朝月ごとの聖歌を歌い、その後祈りを唱えます。宗教に関する行事も多くあるため、様々な場面で自分を見つめ直すことができます。

私はこの学校に入学し、初めてキリスト教に触れました。初めは宗教の授業とはどのようなことをするのかあまりイメージができず、少し不安でした。しかし、今では私にとって大切な時間です。聖書に触れ、祈りを通して、自分は今まで他者のために何をしてきたのか、そして、これから何をしたいのかなど未来の自分について考えています。宗教を学ぶことによって、他者の存在の大切さを改めて実感することができました。それがきっかけとなり、日々の生活中で多くの人に今までよりも感謝の気持ちを伝えられるようになりました。これからも宗教の授業で学んだことを活かしていきたいです。

国際教養コース 3年 江部 舞(鷺塚中学出身)

## ミッションスクール だからこそその経験

先輩の声  
Senior voice

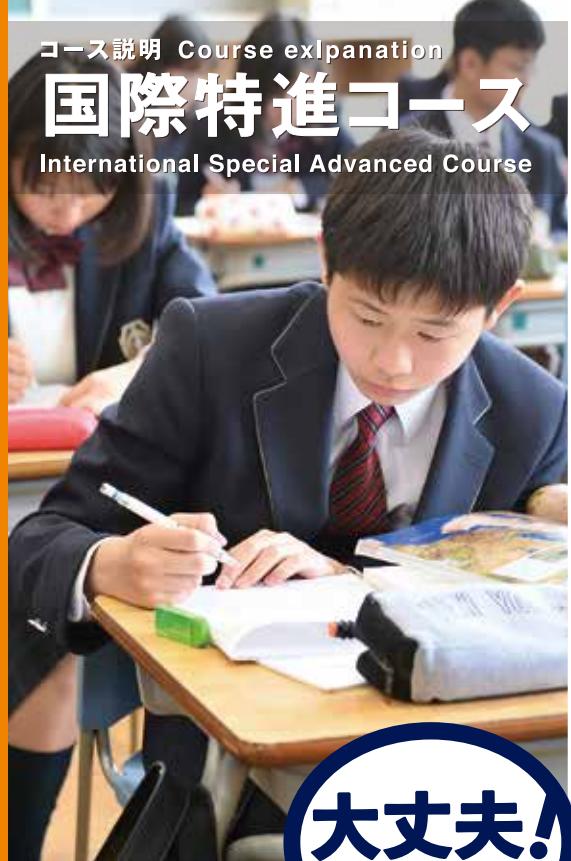


私は昨年、東京で行われた教皇ミサに参加しました。学校外での宗教行事への参加は、今回が初めてでした。教皇ミサへの参加者が様々な言語を話していたことから、キリスト教が世界中で信仰されていることを改めて実感しました。

教皇フランシスコのお話を聞くことができたことは、私にとってとても貴重な体験となりました。その中で最も印象に残っているのは、「すべてを作り出し、征服し、コントロールできると信じる熱望が、心をどれだけ抑圧し、縛りつけることでしょう」という言葉です。私はこの言葉を聞き、自分の弱さ、欠点を全て変えようとするから苦しくなってしまうのではないか、弱さ自体も自分自身なのだと受けとめることができました。

宗教を学ぶことで、今まで知らなかった世界を知り、価値観や視野を大きく広げ、自分自身が豊かになってきていると感じています。ミッションスクールだからこそ出来る経験を大切にし、これからも学び続けていきたいです。

国際教養コース 2年 鈴木瑠海(磐田市立南部中学出身)



コース説明 Course explanation

## 国際特進コース

International Special Advanced Course

# 世界的視野に立った 国際教養教育を推進

国際教養の基盤となる英語力を伸ばしながら、難関国公立大学・難関私立大学を目指すコース。

2年次からは医・薬・理・工・農・情報・医療系学部等を目指す理系と、国際・語学・法・経済学部等を目指す文系に分かれます。理系では数学Ⅲと専門理科2科目を、文系では数学ⅡBまで履修。授業以外に、平日補講や長期休暇補講で、難関大学入試に挑むための学力強化を図ります。

**大丈夫!  
Point 4**

## チューター

職員室に相談に来る生徒が多いのは、生徒と先生の距離が近い聖星高校での日常の風景。特に特進コースの生徒には担任以外にもうひとり、「チューター」という相談役がいます。毎日の学習計画や模試の振り返りなど、生徒一人ひとりの学習のサポートをします。一緒に目標を設定して、目標達成と一緒に喜ぶチューターは、生徒の心強い味方です。



先生の声  
Teacher's voice

## これからの 国際社会に貢献できる 資質を磨く

英語科 清水あす香先生

めまぐるしく変化する現代社会において、過去に例を見ない問題が次々と私達に試練を投げかけてきます。当然、それらは既成の解決策では対処できない場合も多くあります。そのような社会で人々に貢献できる資質を持つ人材とは、客観的な広い視点で物事を捉え、想像力を働かせながら新たなものを生み出す力を持つ者ではないでしょうか。

本校の国際特進コースには土台となる確かな学力を築くことは勿論のこと、その力を用いて課題解決の策にたどり着く力を養うだけでなく、解決策を創造する力を育む環境が整っています。例えば生徒達は、手帳を用いて計画的に物事を進め、PDCAサイクルを習慣化する力を養いながら、過去の自分を超えた姿に出逢えます。また、海外からの学生を招いてのワークショップでは、英語を実践的に用いながら身近な話題から国際的なテーマに至るまで、固定観念を払拭させてグループリーダーの学生と共に活発に議論を交わし、自己の殻を破る体験を通じ柔軟性を身につけられます。

士気高き仲間達と切磋琢磨しながら、あなたの中にあるかけがえのない資質に磨きをかけましょう。



## 補講

特進コースの特徴の一つが、7限授業と平日補講です。時間に余裕があるから、より細やかな説明が可能ですし、応用問題の演習も十分に行えます。さらに夏休みには3週間、冬休みには1週間の受験対策補講を実施。1年生の秋からは小論文講座も始まります。小論文のプロによる月1回の講座と添削指導で受験対策も万全です。

### [国際特進コース 教育課程]

科目	国語総合	現代文B	古典B	世界史A	世界史B	日本史B	地理A	地理B	現代社会	政治・経済	数学I	数学II	数学III	数学A	数学B	数学演習	物理基礎	物理	化学基礎	化学	生物基礎	生物	生物基礎演習	体育	保健	音楽I	美術I	書道I	コミニコニ英語I	コミニコニ英語II	英語表現I	英語会話	英語演習	家庭基礎	家庭総合	社会と情報	宗教	キャリアデザイン	LHR	合計
1年	5			4			2		4		2		2		2						2	1	②②②	5			1			1	1	1	1	35						
2年	文系	3	4		3					4		2				2					2	1				6	2	1	2	1	1	1	1	35						
3年	文系	4	3		4			2							3						2	2	3				6	1	3		1	1	1	1	35					
	理系	3	2				2			4		2			(3)	2	3	(3)			2	1				5	1	2	1	1	1	1	1	35						

\*1 音楽・美術・書道の中から1つを選択する。

\*2 2年次の理系は、「物理」または「生物」のどちらかを選択する。3年次は、2年次に履修した科目を選択する。

先輩の声  
Senior voice

## 磨きあえる仲間と志望校の合格を目指す



私はオープンスクールや入試説明会などで聞いた他校にはない留学制度やカトリック系の学校であることに惹かれて入学を決意しました。私は3ヶ月間のオーストラリア留学に行ってきました。帰国後、他の生徒との勉学の差が出ないように様々な工夫をしていただきました。聖星高校の先生方による授業は、中学生の時の義務教育という枠にとらわれない「プラスアルファ」な授業だと感じました。

新型コロナウイルスの影響で授業を受けられないときには情報機器を使って朝のHRや、授業などを受けることのできる環境を作っていました。他にも「スコラ」手帳を使った学習時間確保や、スケジュールの確認、CALL教室でのネイティブの先生による授業は英語力向上。もちろん勉学だけでなくカトリック校ならではのイベントもたくさん。

熱心な先生方と、ともに磨きあえる仲間と志望校の合格を目指し、日々勉学に励んでいきたいです。

国際特進コース 2年 服部慎之介(蜆塚中学出身)

先輩の声  
Senior voice

## ICT教育と英語教育の重要性に共感



私は、本校のICT教育と英語教育に力を入れている点に強く惹かれて、入学を決意しました。現在の世界は急速に情報化やグローバル化が進んでいます。今存在する職業は、ほとんどが人工知能に取って代わられると言われています。そんな世の中で生き抜くためには、IT機器をとりまく世界を深く、正しく理解しそれらの機器を不自由なく操作できる能力と、その学習過程で多様性を受け入れる視野の広さを育み、国際社会で地球上に生きる一人の人間として貢献するための英語を運用する能力は必須だと思います。

また、放課後の校内は部活動の活気に溢れていると聞きました。私は情報処理部に入部し、更に技術を高めるつもりです。もともとタイピングには自信があるので、それだけでなくプログラミングや、各種ソフトの使い方なども勉強していきたいです。

制服のデザイン性の高さにも魅力を感じています。私自身もこのお洒落な制服に身を包み送る高校生活に、たくさんの素敵なお会いとかかけがえのない経験を通して大きく成長することを期待しています。

国際特進コース 1年 犬塚広夢(入野中学出身)

先輩の声  
Senior voice

## 文武両道の学習環境に惹かれて

国際特進コース 1年 池谷星来(神久呂中学出身)



私は勉強だけでなく部活動にも力を入れている聖星高校の文武両道の学校生活に惹かれ、進学を決意しました。国際特進コースは、国公立、難関私立大学を目指してきめ細やかな指導を受けることができます。個別指導教官の先生もついてくださるため、1年次から大学進学に向けた学習計画や対策をとることができます。また、同じように進学を目指す友人が集まっているため切磋琢磨して勉強に励むことができます。補講の一部は希望制であるため勉強だけでなく部活動にもしっかりと参加できます。私が所属している陸上部では「陸上競技を通じて自主性を養う」という基本方針を基に、顧問の先生が一人ひとりに熱心に指導してくださるため、部活動への意欲が高まり技術的な面でも精神的な面でも成長できます。勉強と部活動の両立は大変なことですが、時間の使い方を上手くコントロールして充実した学校生活を送りたいと思っています。



コース説明 Course explanation

## 国際教養コース

International Liberal Arts Course

# 「自分の未来を デザインする」 キャリア教育を推進

勉強と部活動の両立を図りながら、  
国公立大学から専門学校、就職まで  
多様な進路を目指すコース。  
2年次からは、理・工・農・医療・情報系学部等を  
を目指す理系と、国際・語学・経営・  
幼稚教育・看護・福祉系学部等を目指す  
文系に分かれます。  
将来を見据えた教育プログラムを用意して、  
一人ひとり幅広い進路志望に対応します。

## 将来の目標を定めた人への全力サポート

### 【看護・医療・栄養系プログラム】

- ・週末課題で基礎学力UP
- ・模擬試験で実力を確認
- ・講演会で目標確認

### 【幼稚教育系プログラム】

- ・隣接の幼稚園で実習体験
- ・現役の幼稚園の先生方からアドバイス

## 情報社会を生き抜くための力をつける

### 【情報系プログラム】

- ・情報社会の特徴を学び、正しい付き合い方を身につける
- ・情報工学講座を通して日常生活で身近なものに触れる
- ・日本情報処理検定協会主催の各種検定のほか、  
ビジネス系の検定にも挑戦
- ・各自で目標を設定してスキルアップを目指す

先生の声  
Teacher's voice

### 「聖星生」だからこそ、可能性は無限大！ 地歴公民科 梅林俊哉先生

国際化が進む中で、国際感覚や語学力を伸ばすのはもちろん、自らの見解や世界観を広げることが大事になります。これからを生きていくみなさんは、たった数年で当たり前と思うことや常識が目まぐるしく変化する社会で“生きる力”を身につけて行かなければなりません。3年間しかない高校生活はどう過ごしますか。本校は、みんながワクワクするような学校生活の中で成長できる環境が整っています。

学習面では、英語に加えて希望者にはスペイン語を一から学ぶプログラムが設けられています。また、家庭での学習を“インプット”と位置づけ、“アウトプット”を行う授業を各教科展開しており、知識を深めることはもちろん、自らの意見や見解を発信する力を身に付けることができます。学習で生まれる「？」はどんなに小さな事でも、教員が親身になって生徒の知識になるまでとことんサポートしていきます。そして、勉強と両立できる充実した部活動は、それぞれ専門の顧問が付いており、部員が自らの能力を向上させることができる場になっています。

加えて、多種多様なボランティア活動、教育プログラム、その他課外活動など、個々の希望に合わせ放課後・休日の時間を使いこなすことで、自らの可能性を最大限に引き出すことができます。

興味・関心のあることを見つけ、積極的かつ前向きに取り組めるのは、視野や行動範囲、友好関係が広がり、各種活動に力が入る高校生だからこそその特権です。本校には、貴方たちの明るい未来をサポートする取り組み、教員が揃っています。新たな世界への一歩を踏み出し、人生の経験値を増やしてみませんか。



## 【国際教養コース 教育課程】

※内容は変更する可能性があります

科目	国語総合	現代文B	古典B	世界史A	世界史B	日本史B	地理A	地理B	現代社会	政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅱ	数学Ⅲ	数学A	数学B	数学演習	物理基礎	物理	化学基礎	生物基礎	生物基礎演習	生物基礎演習	体育	保健	音楽I	美術I	書道I	英語Ⅰ	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語会話	英語表現	家庭基礎	家庭総合	社会と情報	宗教	キャリアデザイン	LHR	合計
1年	5		2				2		4		2		2		2		2		2		2		2	②	②	②	5			1			1	1	1	33			
2年	文系	4	3		3						4		2			2						2	1				5		1		2	1	1	1	33				
	理系	3	2								4		2			③	2	3	③			2	1				5		1	2	1	1	1	1	33				
3年	文系	4	3		4		2						2									1	1	3			6	2	1		2	1	1	1	33				
	理系	3	2		3						5		2		③	3	③				3					6	1			1	1	1	33						

※1 音楽・美術・書道の中から1つを選択する。

※2 2年次の理系は、「物理」または「生物」のどちらかを選択する。3年次は、2年次に履修した科目を選択する。

先輩の声  
Senior voice

### 憧れの吹奏楽部と 勉強との両立



私は、幼い頃から大好きで憧れていた吹奏楽部に所属しています。小学生の頃から吹奏楽に取り組んでいましたが、小・中・高と進んでいく中で、部活動が忙しくなると同時に勉強の難易度も上がり、部活動と勉強の両立の大変さを実感することも多くなりました。そこで私は、授業に集中して取り組み、わからない箇所は自分から先生に質問するようになりました。聖星高校は生徒と先生の距離が近く、休み時間などに先生方に気軽に質問することができます。そのため、忙しい中でも有効に時間が使え、楽しみながら勉強に取り組めます。

私は「全国大会に出場し、満足のいく演奏をしたい。」という気持ちを持っていますが、数々の演奏会で、お客様が笑顔で楽しんでくださる姿を見て吹奏楽部の魅力に改めて気づきました。私が忘れないようにしていることは、あくまでも、学校生活がてこその部活動だということです。どれだけ部活内の仲が良くて、熱心に努力をしても、懸ける想いが強くても、学校生活を疎かにしてはならないということを実感しています。様々なことに全力で取り組むことができるこの素敵な環境の中で充実した生活を送るために、部活動と勉強の両立を大切にし、努力を続けていきたいです。

国際教養コース 2年 鈴木 ひかり(南陽中学出身)

先輩の声  
Senior voice

### 目標に向かって 頑張りたい



僕は部活動で成績を残し、勉強もしっかりとこなして文武両道に励むために、国際教養コースを選びました。僕は陸上競技部に所属していて、東海大会や全国大会などの大きな舞台に立つことができるように日々頑張っています。先生方の指導に加え先輩方もアドバイスをくれて、とても恵まれた環境で部活ができています。練習は大変ですが、自分の目標に向かって努力することはとても楽しいです。

勉強面では授業で教えてもらったことを後から自分で復習したり、次の授業の予習を欠かさずしています。中学のときよりも難しいことを学習するので分からないところはありますが、質問に対して先生が真剣に答えてくださるのでしっかりと理解することができています。目標の大学に進学するためにはまだ勉強が足りていないので頑張っていきたいです。この素晴らしい環境で部活動や勉強ができることに感謝しながら、充実した3年間を送っていきたいです。

国際教養コース 1年 青木 翼(浜名中学出身)

先輩の声  
Senior voice

### 部活の先輩から誘われ、入学

国際教養コース 1年 川瀬由嵩(磐田市立竜洋中学出身)



中学3年生の冬休み、志望校を悩んでいたときに聖星高校に通う先輩に部活動に来ないかと誘われ、部活動に参加しました。そのときに、先生や先輩方の雰囲気、きれいな設備に魅力を感じました。僕は、ここで先輩方とバスケットボールをしたいと思いつき進学することを決めました。まだ、共学4年目ということもあり、女子生徒に比べ男子生徒の数は少ないです。しかし、クラスに男子が少ないため1人ひとりとより親密に関わることができます。周りには気の合う友達が多く、分からないところを教え合ったりして、目標に向かって頑張っています。また、友達と明日までにここまで終わらせようとしたときに、勉強に対する意欲が芽生え自分の学習の質も向上します。生徒は1人1台パソコンを持っているため、家で復習や予習をするときに分からない問題などを先生に質問することができます。それも、聖星高校の魅力の1つだと思います。他にも、様々な魅力がありとても楽しく充実した学校生活を送ることができます。

# 進路指導

Career support

## 進路サポートの充実

本校では一人ひとりの生徒の目標を着実に実現していくため、多種多様な学習プログラムを採用し、きめ細かくサポートします。



**Program 1**  
**静岡大学工学部との連携講座**  
静岡大学浜松キャンパスの設備や機材を利用する講座に参加します。

**Program 2**  
**小論文講座を1年次後半から2年間実施(希望制)**  
論述の基礎から始まり、段階的に入試対応までレベルアップします。

**Program 3**  
**資格・検定取得の充実**  
将来に役立つ各種検定の取得へとチャレンジを促します。  
**検定一覧**  
**情報処理**: 国家資格 情報セキュリティマネジメント試験、ITパスポート、日本情報処理検定協会主催の日本語ワープロ検定、情報処理技能検定表計算、文章デザイン検定、ホームページ作成検定、プレゼンテーション作成検定をはじめとして、MOS（マイクロソフトオフィススペシャリスト）、秘書検定、サービス接遇検定、色彩検定まで幅広く実施しています。

**Program 4**  
**ONE ON ONEでの小論文・面接指導**  
受験期には生徒一人ひとりに対して、指導経験豊富な教員が個別対応します。

**Program 5**  
**新書を読みレポート作成指導**  
興味のある分野の本を読み、簡単なレポートを作成することで記述力アップを目指します。

**Program 6**  
**面談週間で希望進路に随時対応**  
高校時代の進路選択は将来の仕事に直結することも多く、高校生は日々思い悩みます。本校では年間4回の面談週間に設けることで、担任が生徒の希望進路に対して、常に丁寧な対応をしていきます。

**Program 7**  
**進路行事が盛りだくさん**  
50校以上が集まって春に本校で開催される進路説明会や保護者対象の進路ガイダンスなど、激動の受験について細やかな説明をしていきます。



### 海外の大学に進学

本校はアメリカ合衆国のアーバイン市にあるコンコーディア大学と姉妹校提携しています。本校卒業後、TOEFL試験免除で大学内の語学学校に入学でき、一定の英語力が身についた段階で、コンコーディア大学に入学することができます。また入学直前の学校のGPA(評定平均値)に応じて段階的に授業料が減額される奨学金システムも姉妹校ならではの特典です。

### 過去5年間の進路先

**国公立大学**  
お茶の水女子大学、山口大学、静岡大学、浜松医科大学、静岡県立大学、静岡文化芸術大学、神戸市外国語大学、愛知県立大学、愛知県立芸術大学、都留文科大学、神戸市看護大学、岩手県立大学、岡山県立大学、国立看護大学校、札幌市立大学、静岡県立農林環境専門職大学 他

**私立大学**  
慶應義塾大学、上智大学、青山学院大学、法政大学、中央大学、津田塾大学、聖心女子大学、東京女子大学、南山大学、立命館大学、同志社大学、同志社女子大学 東京女子医科大学、日本大学、國學院大学、白百合女子大学、国立音楽大学、昭和音楽大学、金沢工業大学、専修大学、駒沢大学、東洋大学、日本赤十字看護大学、近畿大学、神戸薬科大学、岡山理科大学、日本女子体育大学、名城大学、愛知工業大学、愛知大学、京都女子大学、名古屋外国语大学、京都外国语大学、中京大学、国士館大学、玉川大学、工学院大学、聖隸クリストファー大学 他

**短期大学**  
青山学院女子短期大学、上智大学短期大学部、桐朋学園芸術短期大学、東海大学短期大学部実践女子短期大学、愛知大学短期大学部、常葉大学短期大学部、浜松学院大学短期大学部 他

**就職**  
静岡県警察、スズキ株式会社、本田技研工業株式会社、三立製菓株式会社、天方産業株式会社、春華堂、浜名梶包、長尾小児科医院、西山病院 他

卒業生の声  
Voices of graduates



#### 切磋琢磨しあえる仲間と心強い先生 鈴木 陽大(令和元年度卒業)

現在、私は静岡大学理学部物理学科の1回生です。高校時代はバドミントン部に所属しながら特進コースにいたため、勉強と部活の両立は必須でした。ただ1年次は部活の仲間と一緒に過ごすことが楽しく勉強を疎かにする事の方が多いかったです。2年次に留学が迫っているにも関わらず気合いが入らずグダグダと過ごしてきた時もありましたが、周りの留学する人たちと交流する機会があり、その影響で喝を入れられ部活も勉強も両立しようと努力してきました。半年間の留学を経てからは、周りの学習スピードが自分より早く追いつかなくてはと焦りました。そのおかげで一緒に勉強してくれる仲間が沢山出来たのはとても嬉しかったです。また2年の後半には仲間たちと毎日勉強する事によって、周りの受験生より早く走り出せたのは良かったと感じています。受験生になり勉強する時間は日に日に増えましたが、仲間たちがいるおかげで耐えられたと思います。切磋琢磨しあえる友達がいた事に今は感謝しています。静岡大学にいきたいと小林先生に相談したところ真摯に向き合ってもらいました。多くの先生が私に真摯に向き合ってくれたのは非常に嬉しかったです。センター試験まで毎日遅くまで指導や相談に乗ってくれた先生方の存在は心強く、本番の時まで私の強い味方でした。そしてセンター試験で失敗してしまったときは絶望しましたが、先生方は諦めず「推薦入試をやってみろ」と背中を押してくれました。その結果、合格を貰った時は聖星高校で良かったと心から思えました。これからの大學生もダメだと思って諦めず、沢山の友達と協力して困難も乗り越えていきたいです。

卒業生の声  
Voices of graduates



#### いつも相談に乗ってくれた先生に感謝 山下 航希(令和元年度卒業)

私は現在、運動機能や救急救命に関する学習を学んでいます。現在の進路を後押ししてくれたのは、先生方の力が大きかったと思います。高校時代はサッカー部に所属し、1年生から部長を務めました。先輩がいない中、自分たちで新しいチームを築き上げていくのは容易ではありませんでした。周りからのプレッシャーを感じるときもあり、勉強との両立が難しくなった時期もありました。2年次には、後輩が入部し部活動が忙しくなった事もあり、成績を著しく落としてしまいました。そんな時、当時の担任と面談し自分が進路に対する意識が低いことを指摘され、その後自分の意識を変えたことや、先生方のサポート、この学校の学習体制があったからこそ3年の始めにはもとの成績に戻すことができました。手厚いサポートやフレンドリーな先生が多い浜松聖星高校にとても感謝しています。皆さんも積極的に相談してみてください。きっと力になってくれます!!

卒業生の声  
Voices of graduates



#### 未来の選択肢を増やすということ 鈴木 理文(令和元年度卒業)

最終的な行きたい志望校を決めたのは3年生になってからでした。私と同様に、自分が高校卒業後何をしていかか、明確な答えを1、2年生の間に出すことができない人も多いと思います。そんな時は、未来での選択肢を増やすことを心がけることが大切です。私が実際に経験したこととは、定期テストで得点を取り良い成績をいただくこと、未広会活動、小論文やZ会の補講への参加などです。私はバドミントン部に所属していましたが、勉強と部活の両立は容易にはできません。ですが私は双方への気持ち次第で可能であると実際に努力して気がつきました。そして、これらの経験により、一般入試だけでなく、小論文や調査書が審査に加わる推薦入試も大学入学方法の選択肢に入れることができました。私は無事に推薦入試で併願校に、一般入試で国立大学に合格することができました。やらずに悔いを残すことの無いよう、多少不安があつても役に立ちそうなことには挑戦してみると価値はあると思います。あつと言う間に終わってしまう3年間を決して無駄にしないために日々を大切に過ごしてください。

# 個性派ぞろいの 教師陣が生徒たちを支える――

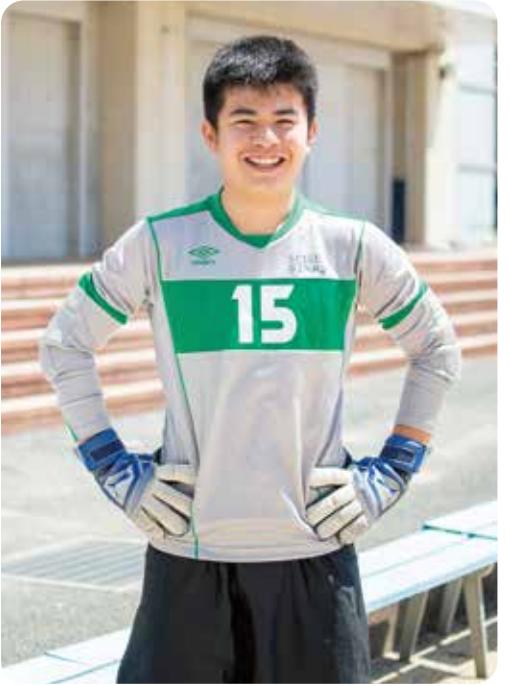
本校の大きな特色は、先生と生徒との“距離”が短いこと。個性豊かな教師陣は、高い指導力と温かい心で生徒たちを親身になって支えてくれます。



# 部活動

Club activities

男子加入によって、  
バスケットボール部、サッカー部、テニス部が  
男子単独部として新たに設立され、活動内容もさらに充実。  
技術とともに内面を磨く指導を行っています。



先輩の声  
Senior voice

## この学校を選んだ理由

私がこの学校を選んだ理由は2つあります。1つ目は、英語教育が充実しているということです。校内には3人のネイティブスピーカーの先生がいて、いつでも、発音を学ぶことができます。また、英語の授業が週に6回から7回もあり、毎日英語に触れることができます。2つ目は部活動です。私は中学校時代、クラブチームでサッカーをしていました。部活動がどのようなものかわかりませんでした。そのような中で、男子サッカー部の部活動見学に行くと、選手全員が積極的に声を出し、いい緊張感の雰囲気を作っていました。私はゴールキーパーなので、声を出すことの大切さを知っています。同じことを共有できるチームだと感じることができました。以上の理由から、聖星高校を選びました。この学校で、充実した3年間を過ごし、将来の夢に向けて一歩近づけたいと思います。

男子サッカー部 1年 鈴木 健心(八幡中学出身)

女子バスケットボール

バドミントン

男子バスケットボール

弓道

剣道

女子テニス

陸上競技

男子テニス

女子サッカー

男子サッカー

ダンス

大丈夫!  
Point 8

先輩の声  
Senior voice

## スポーツと勉強の両立は相乗効果

私は女子テニス部に所属しています。インターハイでの全国活躍を目標に、テニス部の皆と練習を頑張ってきました。私が浜松聖星高等学校で生活を送り、感じたことは、2つあります。1つ目は、心優しい人が多いということです。関わりの深いテニス部の皆を始めとする生徒、教科ごとに変わる個性豊かな先生方。いつも笑顔と優しさに包まれていて、とても居心地が良いです。その中で先生と生徒との距離が近いのも魅力だと思います。分からぬ問題を親身になって付き合ってくれる先生方や、一人一人の成長をすぐに見つけて褒めてくれる先生方が多くいて、先生からの愛を常に感じます。その様な環境があるからこそ、部活動も勉強も思い切り打ち込んでいると思います。2つ目は、勉強とスポーツは繋がっているということです。文武両道という言葉にもある通り、どちらか片方だけを頑張るのではなく、両方頑張ることが出来てこそ、良い成果や結果が生まれることに身をもって実感しました。例えば、勉強で脳が活性化されることで、テニスでの戦術や球種を考えやすくなったり、テニスで体力が付いたことで、勉強に取り組む時間が長くても苦にならなくなったりです。今までの私は、運動だけできればいいという考えが大きかったのですが、その考え方を変えただけで、テニスの実力も学力も急激に上がったと思います。勉強は部活動で時間が少ない中でも、授業中や休み時間、移動時間を使って学習をしています。大変だと思う時もありますが、やりがいを感じ、毎日が充実していて楽しいです。

今後は、幼稚園の頃から続けてきたテニスの質を向上させることはもちろん、今までの恩返しとして後輩部員にできる範囲でテニスを教えながら、皆でレベルアップしていきたいです。勉強面では、苦手な教科を無くすように、隙間時間での復習を今よりも徹底して取り組みたいと思います。浜松聖星高等学校で出会えた仲間と先生は、私にとってかけがえのないものであり、心の拠り所もあります。常に感謝の気持ちを忘れずに、全力で走り続けたいです。

女子テニス部 3年 馬渕 麻実(磐田市立城山中学出身)

# 文化部

全国レベルで活躍する吹奏楽部、演劇部、放送部をはじめ、さまざまな分野で伸び伸びと活動しています。また国際社会に目を向けた活動も充実しています。



吹奏楽 演劇 放送 合唱 日本舞踊 茶華道 書道  
美術 情報処理 英語 グローバルイシュー研究 サイエンス

## 勉強+テニス部+サイエンス 充実の高校生活



**先輩の声**  
Senior voice

私は小さい頃から好奇心が強く、実験することや生物の生態などに興味を持っていました。サイエンス部では家にはない器具や薬品を使って実験を行うので、普段体験できないことを体験できます。昔から理科関係のことに対する興味を持っていた僕にとっても合っていると思ったので、入部を決めました。

実験では薬品の量や手順などが少し違うだけで、失敗することがあります。そのため注意力や洞察力などが必要であり、サイエンス部の活動を通してそれらを身につけ、高めることができていると思います。

サイエンス部は週に1回の活動なので、他の部活動やボランティア活動、習い事などを掛け持ちすることができます。僕はテニス部と兼部しています。初めは学習時間の確保が大変でしたが、登下校のバスの中などちょっとした時間に勉強することで、今では勉強と部活動を両立させています。これからも好奇心を持って、いろいろなことにチャレンジしていきたいです。

サイエンス部 3年 仲秋遙冬（江西中学出身）

## 大好きな聖星高校に とてもワクワク



**先輩の声**  
Senior voice

私が聖星高校に入学したいと思った理由は学校の雰囲気の良さと吹奏楽部への強い憧れです。家から遠く通学が大変で部活動も忙しいからといろいろな人に反対されました。自分の意志で聖星高校を選びました。無事に吹奏楽部にも入部できてとても嬉しいです。

私は聖星高校得意なことをもっと増やしたいと思っています。中でも中学の時から行っていたクラリネットを高校でも続けたいと思っています。高校生活は楽しいことばかりではなく、辛いことや苦しいこともあります。ですが大好きな聖星高校で高校生活を送ることにとてもワクワクしています。先生方もとても優しく丁寧で同級生や先輩方も明るく、毎日が輝いています。

部活動での個人目標はコンクールメンバーになって全日本吹奏楽コンクールの舞台に立つことです。この目標に向かって全力で努力したいと思います。そして勉強との両立もさせて聖星高校で最高の3年間を作りたいです。

吹奏楽部 1年 堀川莉緒（磐田市立城山中学出身）

# 末広会

学校設立時から個々に行っていた活動を、1968年に統合して発足した伝統あるボランティア組織です。この会の活動を通して、助け合うことの大切さや豊かな感性、奉仕の精神を養い、個人ではなくチームで動くために必要なことや、個々が果たすべき役割を学ぶ場となっています。末広会会員は4つの班に分かれ、定期的に活動を行っています。

## 特別養護老人ホーム 三幸の園訪問班

喫茶店の手伝いや掲示物作成、足浴の手伝い、医療用品作りなどを行います。

## 特別養護老人ホーム 静光園訪問班

園内の清掃を中心に、利用者さんの食事準備の手伝い、散歩の介助や爪切り、話し相手になることなどを行っています。

## 身体障害者療護施設 聖隸厚生園訪問班

利用者さんの洗濯物の整頓、食事や散歩の介助、買い物の付き添いなどを行っています。

## クリーン・エコロジー班

浜松医療センターにて病院内の車いすや椅子等の拭き掃除を行うほか、学校内でペットボトルキャップ、古切手、ベルマーク、牛乳パックを回収し各ボランティア団体へ寄付を行っています。

「小さな親切」実行章 受賞（平成30年度実績）  
浜松市青少年善行奨励賞 受賞（令和元年度実績）



## 先輩の声 Senior voice

## 人に感謝されることで、自分が成長

高校に入学すると勉強と部活の両立を目標に掲げる人が多いと思いますが、その目標にボランティア活動も加えてみませんか。一人ひとりのほんの少しの手助けによって、多くの笑顔が生まれ、また、人に感謝されることによって、自分が成長できる場所もあるのが、末広会での活動です。私はクリーン・エコロジー班に所属し、医療センターでの清掃と校内でのエコロジー活動を2年間継続することによって、自主的に活動に参加する行動力が身に付きました。末広会は福祉のボランティア活動がメインですが、今後、大学生や社会人になったら、新たなボランティア活動にも視野を広げ、継続していく気持ちを持ち続けたいです。

末広会 3年 佐々木蓮能（佐鳴台中学出身）

# 多文化交流プロジェクト

異なる文化を持つ人々の交流を通じ、様々な文化の理解・尊重し、その違いを超えて共生する心を育てることを目的としています。

## 先輩の声 Senior voice

## 覚える楽しさと教える嬉しさを体感

私は毎週火曜日の学習支援ボランティアや水曜日のスペイン語講座の多文化交流プロジェクトを通じて、言語を学ぶ楽しさや、誰かの役に立てる喜びを感じています。スペイン語を始めた時は慣れない発音や文法に苦戦しましたが、講師の先生が丁寧に教えてください、みんなでゲームなどを交えて楽しく学んでいます。学習支援では教会に行き、外国にルーツを持つ小学生に勉強を教えたり、宿題のサポートをしています。また自分が小学生だった時を思い出しながら、勉強を教えていて、子どもたちが理解でき問題を解いている姿や楽しそうに勉強している姿を見ると嬉しく思います。子どもたちは日本語とスペイン語を話しているので、私もスペイン語をもっと勉強し、学習支援の活動で子どもたちとのコミュニケーションのきっかけにすることができたらしいなと思います。

多文化交流 3年 田中 ひな（蜆塚中学出身）



# 学校生活

SEISEI School life

本校では、文化祭(ベリタスプラザ)や体育祭に加え、マリア祭、ステラサンクタクリスマスなど心に響く行事が多くあります。自らの心身を磨きながら、楽しく充実した高校生活を送ることができます。



# ONE DAY

今年度の日課表です。授業は50分ずつ行われます。  
平日のほか、第1・3・5土曜日は授業があります。

平日

H R 8:30 ~ 8:40

1時間	8:45 ~ 9:35
2時間	9:45 ~ 10:35
3時間	10:45 ~ 11:35
4時間	11:45 ~ 12:35

昼休み 12:35 ~ 13:20

5時間	13:20 ~ 14:10
6時間	14:20 ~ 15:10

掃除 15:15 ~ 15:30

H R 15:35 ~ 15:45

7時間	15:50 ~ 16:40
特進補講 17:00 ~ 18:00	

第1・3・5土曜日

H R 8:30 ~ 8:35

1時間	8:40 ~ 9:30
2時間	9:40 ~ 10:30
3時間	10:40 ~ 11:30
4時間	11:40 ~ 12:30



## Q1 男子生徒はどのくらいいますか?

A 生徒全体の約30%が男子です。男女ともに、部活動や学校行事に積極的に参加しており、のびのびと高校生活を満喫しています。

## Q2 海外への修学旅行は全員ですか?

A 国際特進コースは全員、国際教養コースは希望者のみ、英語を公用語とするシンガポールへの海外修学旅行に参加できます。学校訪問やホームビジットなど、さまざまな体験プログラムを予定しています。

## 宗教の授業ってどんなことをやるのですか? Q3

A キリスト教について学んだり、人間として大切なことは何かを考えたりする授業です。音楽を聴きながら瞑想をしたり、聖歌を歌ったり、心やすらぐ授業です。

## 食堂はありますか? Q4

A 校内に「ファミリーマート」が入っているラウンジがあり、お弁当やサンドwichなど手頃な値段で豊富な種類を取り揃えています。多くの生徒が利用しています。

## 留学しても3年間で卒業できますか? Q5

A できます。ターム留学、半年間留学、1年間留学、すべてにおいて現地の修得単位が認められるため、帰国後そのまま進級できます。

## 1年間の留学生活の支援は万全ですか? Q6

A 2ヶ月に1度、本人が書いたレポートが送られ、生活の様子を知ることができます。また、現地のカウンセラーによる定期的な面談で生活全般をサポートしています。

## 入学試験について

### Q7 どのような問題が出題されますか?

A 各科目ともに、教科書の内容に沿った、基礎的な知識を問う問題です。詳細は、12月実施の入試説明会でお伝えします。

### Q8 面接試験があるそうですが、どんなことに気をつけたらいいですか?

A 本校で学ぶ意欲、中学での活動、関心を持っていることなど、自分の言葉でしっかりと答えるようにおきましょう。その他、中学生としてふさわしい立ち居振る舞いが求められます。留学を希望される場合、日本語に加えて英語による面接があります。

### Q9 国公立大学への進学を希望しているのですが可能ですか?

A もちろん可能です。両コースともに国公立大学受験が可能なカリキュラムを組んでいます。その他、平日補講や夏期補講、冬期補講など、希望を叶える体制を整えています。

### Q10 進学者が多いと聞きましたが、就職する人はいますか?

A スズキ株式会社や本田技研工業株式会社などの多くの地元企業に就職しています。また各種公務員試験に合格し、公務員として活躍している卒業生もいます。



# 2021年度 浜松聖星高等学校 入学試験概要

## 入学試験科目

**定員  
200名**

### 国際特進コース

※国際教養コース併願可  
筆記試験:5教科(国語・英語・数学・理科・社会)各50分  
面接試験:グループ面接  
留学希望者:英語と日本語による面接・保護者面接

### 国際教養コース

筆記試験:5教科(国語・英語・数学・理科・社会)各50分  
面接試験:グループ面接  
留学希望者:英語と日本語による面接・保護者面接

## 入学試験について

### 本試験

令和3年2月2日(火) 筆記試験  
3年2月3日(水) 面接試験

### 再募集A

【受験資格】単願併願者を問わず、私立高校本試験の不合格者。

公立高校との併願は可能とする。

【日程】令和3年2月18日(木) 筆記試験・面接試験  
筆記試験:3教科(国語・英語・数学)各50分  
面接試験:個人面接

【受験資格】公立高校、私立高校、再募集Aの不合格者。

【日程】令和3年3月17日(水) 面接試験(個人)  
ただし、本試験・再募集Aで定員を充足した場合は実施しない。

## 授業料・特待生制度について

### 授業料(月額) 39,000円

授業料減免制度	世帯所得目安	~270万円	~350万円	~590万円	~700万円	~910万円
就学支援金			33,000円		9,900円	
静岡県授業料減免	6,000円	4,800円	0円	23,100円	0円	
自己負担額	0円	1,200円	6,000円	6,000円	29,100円	

**学業特待生** 内申点で選考する単願特待生と入学試験結果で選考する入試特待生があります。詳しくは生徒募集要項をご覧ください。

**部活動特待生** 部活動において顕著な成績を収めている場合に对象となります。詳しくは生徒募集要項をご覧ください。

**兄弟姉妹減免** 兄弟姉妹が同時に在学している場合、そのうち一人の授業料自己負担額が半額免除されます。

## 浜松聖星高校までのアクセス



## 浜松駅からのアクセス

**遠鉄バス JR浜松バスターミナル**

**②番  
のりば**

系統番号 **0 「蜆塚 佐鳴台前」下車**  
系統番号 **8 「浜松聖星高校」下車**

系統番号 **8-22  
「浜松聖星高校」下車**

系統番号 **8-33  
「浜松聖星高校」下車**

## 中学生対象行事

### 夏のオープンスクール

8月2日(日)・8月22日(土)

9:00～12:00(受付8:40～)

### 秋のオープンスクール

11月21日(土)・11月28日(土)

9:00～12:00(受付8:40～)

### 入試説明会

12月12日(土)・12月20日(日)

9:00～12:00(受付8:40～)

## お申し込みはこちら



右のQRコードを  
読み取りご登録を  
お願いいいたします

※2日前までにお申込みを  
お願いいいたします。

### 個別相談会

12月22日(火)～24日(木)

9:00～12:00 ※予約制

※個別相談会の予約はホームページの  
お問い合わせフォーム、または電話にてお申しみください。



浜松聖星高等学校

HAMAMATSU SEISEI HIGH SCHOOL

〒432-8018 静岡県浜松市中区蜆塚3丁目14番1号 Tel. 053-454-5376 Fax. 053-453-4719

<https://hamamatsu-seisei.jp>